

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### A. コースワークの充実・強化

#### ①人材養成目的に沿った科目構成の整理

##### ●神戸大学医学研究科医科学専攻

##### 「拠点融合型プロフェッショナル臨床医教育」の事例

(具体的に何を実施したのか)

臨床技能の修得を重視したリサーチマインドを持つ臨床医の養成を目的とし、プロフェッショナル臨床医教育プログラムを設置し、専門医取得コース(必修)、高度臨床技能修得コース(選択日必修)と国際臨床技能修得コース(選択必修)を設置した。人材養成目的に沿って、共通科目として医学・工学・物理学等の分野で医学に関係する最先端研究を行っている研究者を講師として学外より招へいし医学研究先端コース(2単位)を設けた。また、臨床的に非常に有用で実用化が期待される医療機器やデバイス、医療技術トレーニング等多岐にわたる内容で、演習・実習を実施することができた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

兵庫県内の関連病院学会専門医認定病院に加え、高度先端医療拠点である、神戸内視鏡センター、兵庫県立がんセンター等と有機的に融合した指導体制を整備した。また、インドネシアにある神戸大学の海外の新興・再興感染症拠点等との連携を強化した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

学生は学位と専門医の両認定資格が取得できた。また、高度臨床技能を習得したリサーチマインドを持つ臨床医が養成された。

## 1. 特に効果的であり改善に資した事例について

### B. 円滑な学位授与の促進

#### ②厳格な成績基準と評価基準の設定や学位授与プロセスの明確化

##### 《医療系》

##### ●神戸大学医学研究科医科学専攻

##### 「拠点融合型プロフェッショナル臨床医教育」の事例

(具体的に何を実施したのか)

当プログラム履修を希望する学生から、自らテーマを設定して研究を企画する  
リサーチプロポーザルを科学研究費補助金の書式に準じて提出させ、教務学生委  
員会を中心とした審査委員会（当該学生の指導教員は除外）にて厳正に審査して  
採用した。また、年度末に口頭発表による進捗状況報告会を開催し、継続の可否  
を審査委員会で決定した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

コーディネータ（准教授）を採用し、本プログラムの円滑な運営、大学院生の  
研究遂行に助言等の指導を行った。プログラムに採用された学生をRAに採用し、  
経済的支援をするとともに、研究費を支給し、研究の自立性を与えた。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

自立的研究遂行能力が養成された。